# 平成21年10月期 第3四半期決算短信

平成21年9月4日

上場会社名　株式会社 ビジネストラスト　　上場取引所　大
コード番号　4289　　URL　http://www.b-trust.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）吉木伸彦
問合せ先責任者（役職名）取締役マネジメント本部長　（氏名）鬼形貴之　TEL 03-5575-6100
四半期報告書提出予定日　平成21年9月11日
配当支払開始予定日　—

（百万円未満四捨五入）

1. 平成21年10月期第3四半期の連結業績（平成20年11月1日～平成21年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年10月期第3四半期 | 2,814 | — | 40 | — | △118 | — | △161 | — |
| 20年10月期第3四半期 | 2,447 | 24.4 | 136 | △41.0 | 111 | △44.3 | 33 | △59.8 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年10月期第3四半期 | △5,932.64 | — |
| 20年10月期第3四半期 | 1,183.99 | 1,182.75 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年10月期第3四半期 | 3,627 | 1,128 | 29.6 | 39,914.71 |
| 20年10月期 | 3,942 | 1,334 | 32.5 | 46,769.36 |

（参考）自己資本　21年10月期第3四半期　1,073百万円　20年10月期　1,282百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| （基準日） | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年10月期 | — | — | — | 1,200.00 | 1,200.00 |
| 21年10月期 | — | — | — | | |
| 21年10月期（予想） | | | | 600.00 | 600.00 |

（注）配当予想の当四半期における修正の有無　無

3. 平成21年10月期の連結業績予想（平成20年11月1日～平成21年10月31日）

（%表示は対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 4,000 | 22.2 | 150 | △2.0 | 80 | △61.2 | 0 | △100.0 | 0.00 |

（注）連結業績予想数値の当四半期における修正の有無　無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 21年10月期第3四半期 | 28,903株 | 20年10月期 | 28,903株 |
| ② 期末自己株式数 | 21年10月期第3四半期 | 2,032株 | 20年10月期 | 1,491株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間） | 21年10月期第3四半期 | 27,114株 | 20年10月期第3四半期 | 27,754株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして実際の業績等は、状況の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おきください。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年来よりの世界規模的な景気の急激な悪化の中、企業における大幅な在庫調整や生産調整を通して景気底入れの兆しが見え始め、株価も回復しつつありますが、個人消費は依然低迷しているほか、失業率も高止まりしており、今後の先行きに関しては依然予断を許さない状況となっております。

会計ソフトウェア業界におきましては、四半期報告制度の導入や内部統制システムの構築への要望の高まりから、情報化投資の必要性の認識は浸透しているものの、企業業績の大幅な縮小を背景に、システムに対する投資意思決定は慎重化を極めております。

また、人材ビジネス業界におきましては、先行きの不透明感を懸念し、採用を見送る企業が増えており、人材紹介業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

マーチャンダイズ事業における観賞魚業界におきましては、個人消費が低迷する中、特に嗜好品である観賞魚に対する購買意欲には大きな冷え込みが見られております。

健康・生活関連事業におきましては、人々の健康に対するニーズが高まる中、製品に対する機能、効能に対する意識も同様に高まっており、機能性をより客観的に評価、証明することで消費者の信頼に応えることが課題となっております。生活衣料等におきましては、生活防衛意識の高まりを受け、より低価格で高品質の商品開発が求められております。

このような状況のもと当社グループにおきましては、新会計基準に準拠した会計パッケージの販売や会計コンサルティングを行う会計関連事業を中核としつつ、シナジー効果の期待できる人事・総務関連事業も行うことで、グループとして企業管理部門に対する総合的なサービスを提供するほか、今後市場の成長が期待される健康・生活関連事業にも展開しております。

会計関連事業におきましては、主力製品である連結会計パッケージ「連結大王ＳＵＭＭＩＴ」を引き続き営業展開したほか、ＳＰＣ会計のアウトソーシングを含めた会計コンサルティングについても積極的に展開しました。また、金融商品の時価開示に対応した新製品「ＡＰＥＸ」を地方銀行等を中心とした金融機関に向け積極的に提案いたしました。

人事・総務関連事業におきましては、経理や金融部門の人材紹介及び福利厚生施設の施工や管理サービスを中心に拡大を図りましたが、外資系金融機関を中心として採用に対する慎重化姿勢が継続しております。また、景気の減速感により福利厚生施設に対する投資の意思決定にも慎重化姿勢が広がりました。

マーチャンダイズ事業における観賞魚の販売、レンタルサービスにおきましては、消費低迷の中、店舗施策、原価管理等、様々な施策を講じてまいりましたが、経営資源を集中するグループ戦略を踏まえ、平成21年９月１日をもって、アクアリウム事業を譲渡いたしました。

健康・生活関連事業におきましては、主力製品である「ひだまり」健康肌着の販売に注力するほか、婦人向け衣料に関してもオリジナル商品の開発・販売を積極的に展開いたしました。また、当期より婦人層向け通信販売を開始し、同事業として、製造から卸、小売までのルートを確立しております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における連結売上高は2,814百万円、連結営業利益は40百万円となりましたが、子会社の輸入取引に係るリスクヘッジのため行っていた通貨オプション取引等に係る円高でのデリバティブ評価損を120百万円、またマーチャンダイズ事業において店舗規模縮小による固定資産除却損を39百万円計上したことにより、連結経常損失は118百万円、連結四半期純損失は161百万円となりました。

a）会計関連事業

会計関連事業におきましては、決算開示の早期化や連結経営管理のニーズに対応すべく、主力製品である連結会計パッケージソフト「連結大王ＳＵＭＭＩＴ」を積極的に営業展開しました。

また、会計アウトソーシングについても積極的に獲得してまいりました。

その結果、会計関連事業の売上高は370百万円、営業利益は125百万円となりました。

b）人事・総務関連事業

人事・総務関連事業における人事部門につきましては、会計関連事業とのシナジー効果を期待し、経理部門や金融部門の人材紹介を中心に事業拡大を図りました。総務部門につきましては、学校法人の体育施設や大企業の福利厚生施設の施工・管理のサービスを行っております。

その結果、人事・総務関連の売上高は396百万円、営業損失は14百万円となりました。

c）マーチャンダイズ事業

マーチャンダイズ事業では、他社の会計システムやシステム機器等の提供及び熱帯魚店の運営を始めとするアクアリウム事業を行っております。

マーチャンダイズ事業の売上高は236百万円、営業損失は48百万円となりました。

d) 健康・生活関連事業

健康・生活関連事業では、「ひだまり」ブランドを始めとした健康肌着、サポーター等の製造、販売のほか、婦人向け衣料の卸、婦人向け通信販売を行っております。健康・生活関連事業の売上高は1,848百万円、営業利益は71百万円となりました。

なお当第３四半期連結累計期間の事業の種類別セグメントの売上高の金額には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、長期借入れによる収入等により資金を取得したものの、短期借入金の減少や長期借入金の返済による支出等により資金が流出した結果、前期末に比べ197百万円減少し、当第３四半期連結会計期間末には891百万円となりました。

なお、当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第３四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、64 百万円となりました。その主な内訳は、収入要因として、売上債権の減少額 89 百万円、たな卸資産の減少額 28 百万円、支出要因として、法人税等の支払額52百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第３四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、29 百万円となりました。その主な内訳は、支出要因として、投資有価証券の取得による支出 160 百万円、無形固定資産の取得による支出44百万円、収入要因として、投資有価証券の売却による収入164百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第３四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、221百万円となりました。その主な内訳は、支出要因として、短期借入金の純減少額 318 百万円、長期借入金の返済による支出168百万円、収入要因として、長期借入れによる収入280百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

低迷する企業業績、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷等、当社グループを取り巻く環境は非常に厳しいものが予想されますが、今後の営業施策や収益改善施策等を鑑みた結果、平成 21 年４月 30 日に公表いたしました業績見通しに変更ありません。

4.　その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第３四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・棚卸資産の評価方法

一部の子会社においては、当第３四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた会社については、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②　第１四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会平成 18 年７月５日　企業会計基準第９号）を適用し、評価基準については、従来の原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

この変更による損益に与える影響額は軽微であります。

## 5.【四半期連結財務諸表】

### (1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結会計期間末<br>（平成21年７月31日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成20年10月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 896,057 | 1,092,846 |
| 受取手形及び売掛金 | 332,003 | 421,406 |
| 商品及び製品 | 530,003 | 547,425 |
| 仕掛品 | 26,695 | 39,126 |
| 原材料及び貯蔵品 | 38,117 | 36,056 |
| その他 | 212,304 | 152,252 |
| 貸倒引当金 | △4,301 | △4,986 |
| 流動資産合計 | 2,030,881 | 2,284,127 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 477,809 | 541,302 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 131,375 | 159,694 |
| その他 | 93,247 | 79,459 |
| 無形固定資産合計 | 224,623 | 239,153 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 227,301 | 207,395 |
| 投資不動産（純額） | 449,548 | 452,312 |
| その他 | 216,587 | 218,087 |
| 貸倒引当金 | △13 | △19 |
| 投資その他の資産合計 | 893,424 | 877,776 |
| 固定資産合計 | 1,595,856 | 1,658,233 |
| 資産合計 | 3,626,737 | 3,942,360 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 244,673 | 265,946 |
| 短期借入金 | 901,603 | 1,226,876 |
| 未払法人税等 | 26,954 | 38,175 |
| 賞与引当金 | 15,508 | 21,997 |
| その他 | 433,448 | 325,202 |
| 流動負債合計 | 1,622,186 | 1,878,198 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 180,000 | 148,000 |
| 長期借入金 | 564,408 | 444,956 |
| 退職給付引当金 | 72,144 | 77,780 |
| 役員退職慰労引当金 | 25,000 | 25,000 |
| その他 | 34,687 | 34,626 |
| 固定負債合計 | 876,239 | 730,362 |
| 負債合計 | 2,498,426 | 2,608,561 |

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結会計期間末<br>（平成21年７月31日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成20年10月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 586,085 | 586,085 |
| 資本剰余金 | 524,684 | 524,684 |
| 利益剰余金 | 90,788 | 284,540 |
| 自己株式 | △127,691 | △111,601 |
| 株主資本合計 | 1,073,866 | 1,283,708 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △1,318 | △1,667 |
| 評価・換算差額等合計 | △1,318 | △1,667 |
| 少数株主持分 | 55,762 | 51,757 |
| 純資産合計 | 1,128,310 | 1,333,799 |
| 負債純資産合計 | 3,626,737 | 3,942,360 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成20年11月１日<br>至　平成21年７月31日） |
|---|---|
| 売上高 | 2,813,994 |
| 売上原価 | 1,706,714 |
| 売上総利益 | 1,107,280 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,067,006 |
| 営業利益 | 40,274 |
| 営業外収益 | |
| 投資不動産賃貸料 | 16,599 |
| 投資有価証券売却益 | 9,244 |
| 負ののれん償却額 | 6,297 |
| 持分法による投資利益 | 7,769 |
| その他 | 8,001 |
| 営業外収益合計 | 47,911 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 22,507 |
| 投資有価証券売却損 | 470 |
| 為替差損 | 42,175 |
| デリバティブ評価損 | 120,107 |
| 不動産賃貸原価 | 7,417 |
| その他 | 13,848 |
| 営業外費用合計 | 206,527 |
| 経常損失（△） | △118,340 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 39,707 |
| その他 | 1,381 |
| 特別損失合計 | 41,088 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △159,429 |
| 法人税等 | △10,970 |
| 法人税等還付税額 | △2,434 |
| 少数株主利益 | 14,833 |
| 四半期純損失（△） | △160,857 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成20年11月１日<br>至　平成21年７月31日） |
|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △159,429 |
| 減価償却費 | 34,033 |
| ソフトウエア償却費 | 23,857 |
| のれん及び負ののれん償却額 | 28,318 |
| 貸倒引当金の増減額（△は減少） | △690 |
| 賞与引当金の増減額（△は減少） | △6,489 |
| 退職給付引当金の増減額（△は減少） | △5,636 |
| 受取利息及び受取配当金 | △933 |
| 支払利息 | 22,507 |
| 為替差損益（△は益） | 10,574 |
| 持分法による投資損益（△は益） | △7,769 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △8,773 |
| デリバティブ評価損益（△は益） | 120,107 |
| 固定資産除却損 | 39,707 |
| 売上債権の増減額（△は増加） | 89,402 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | 27,790 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △21,272 |
| 未払消費税等の増減額（△は減少） | 16,543 |
| その他 | △67,560 |
| 小計 | 134,286 |
| 利息及び配当金の受取額 | 885 |
| 利息の支払額 | △19,987 |
| 法人税等の支払額 | △51,678 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 63,506 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △3,961 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △44,189 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △159,588 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 164,131 |
| その他 | 14,585 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △29,021 |

（単位：千円）

| | 当第３四半期連結累計期間<br>（自　平成20年11月１日<br>至　平成21年７月31日） |
|---|---|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | △317,900 |
| 長期借入れによる収入 | 280,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △167,921 |
| 社債の発行による収入 | 97,740 |
| 社債の償還による支出 | △48,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △16,380 |
| 配当金の支払額 | △32,747 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △10,828 |
| その他 | △4,663 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △220,700 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △10,574 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △196,788 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,087,809 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 891,021 |

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 12 号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 14 号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報
【事業の種類別セグメント情報】
当第３四半期連結累計期間（自　平成 20 年 11 月 1 日　至　平成 21 年 7 月 31 日）

| | 会計関連事業（千円） | 人事・総務関連事業（千円） | マーチャンダイズ事業（千円） | 健康・生活関連事業（千円） | 計（千円） | 消去又は全社（千円） | 連結（千円） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 351,131 | 379,891 | 234,515 | 1,848,456 | 2,813,994 | — | 2,813,994 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | 18,630 | 16,557 | 1,630 | — | 36,818 | (36,818) | — |
| 計 | 369,761 | 396,449 | 236,146 | 1,848,456 | 2,850,813 | (36,818) | 2,813,994 |
| 営業利益又は営業損失（△） | 124,626 | △13,784 | △47,702 | 71,099 | 134,237 | (93,963) | 40,274 |

（注）１　事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
２　各区分の主な製品・サービス
①　会計関連事業・・・会計ソフト（連結大王 SUMMIT 等）、会計コンサルティング
②　人事・総務関連事業・・・人材紹介、人材派遣、福利厚生施設の施工及び管理
③　マーチャンダイズ事業・・他社ソフト、システム機器、観賞魚及び関連器材
④　健康・生活関連事業・・健康肌着の製造・販売、婦人服の輸入・卸、通信販売

【所在地別セグメント情報】
当第３四半期連結累計期間（自　平成 20 年 11 月 1 日　至　平成 21 年 7 月 31 日）
本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】
当第３四半期連結累計期間（自　平成 20 年 11 月 1 日　至　平成 21 年 7 月 31 日）
海外売上高が連結売上高の 10％未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

前第３四半期連結累計期間　(自　平成 19 年 11 月 1 日　至　平成 20 年 7 月 31 日)

| | 前年同四半期<br>(平成20年10月期<br>第３四半期) | | |
|---|---|---|---|
| 区分 | 金額(千円) | | 百分比<br>(%) |
| Ⅰ　売上高 | | 2,446,545 | 100.0 |
| Ⅱ　売上原価 | | 1,479,153 | 60.5 |
| 売上総利益 | | 967,391 | 39.5 |
| Ⅲ　販売費及び一般管理費 | | 831,051 | 34.0 |
| 営業利益 | | 136,340 | 5.5 |
| Ⅳ　営業外収益 | | | |
| 1　受取利息 | 1,275 | | |
| 2　受取配当金 | 34 | | |
| 3　投資有価証券売却益 | 4,169 | | |
| 4　不動産賃貸収入 | 16,459 | | |
| 5　負ののれん償却額 | 6,297 | | |
| 6　持分法による投資利益 | 9,606 | | |
| 7　その他 | 5,491 | 43,335 | 1.8 |
| Ⅴ　営業外費用 | | | |
| 1　支払利息 | 22,274 | | |
| 2　投資有価証券売却損 | 5,423 | | |
| 3　不動産賃貸原価 | 7,646 | | |
| 4　デリバティブ損失 | 27,096 | | |
| 5　その他 | 6,061 | 68,502 | 2.8 |
| 経常利益 | | 111,172 | 4.5 |
| Ⅵ　特別利益 | | | |
| 1　子会社株式売却益 | 27,059 | 27,059 | 1.1 |
| Ⅶ　特別損失 | | | |
| 1　固定資産除却損 | 4,496 | | |
| 2　減損損失 | 20,321 | 24,817 | 1.0 |
| 税金等調整前<br>四半期純利益 | | 113,414 | 4.6 |
| 法人税、住民税<br>及び事業税 | 77,690 | | |
| 法人税等調整額 | △11,236 | 66,453 | 2.7 |
| 少数株主利益 | | 14,100 | 0.6 |
| 第３四半期純利益 | | 32,860 | 1.3 |

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第３四半期連結累計期間　（自　平成 19 年 11 月 1 日　至　平成 20 年 7 月 31 日）

| | 前年同四半期<br>（平成20年10月期<br>第３四半期） |
|---|---|
| 分 | 金額（千円） |
| Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 113,414 |
| 減価償却費 | 39,988 |
| ソフトウェア償却費 | 26,124 |
| 減損損失 | 20,321 |
| のれん及び負ののれん償却額 | 20,684 |
| 貸倒引当金の増加額（減少は△） | △208 |
| 賞与引当金の増加額（減少は△） | △3,893 |
| 退職給付引当金の増加額（減少は△） | △6,789 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,310 |
| 支払利息 | 22,274 |
| 為替差損益(△は差益) | △2,340 |
| 持分法による投資損益（△は利益） | △9,606 |
| デリバティブ損失 | 27,096 |
| 社債発行費 | 2,417 |
| 子会社株式売却益 | △27,059 |
| 投資有価証券売却益 | △4,169 |
| 投資有価証券売却損 | 5,423 |
| 固定資産除却損 | 4,501 |
| 売上債権の減少額（増加は△） | 195,569 |
| たな卸資産の減少額（増加は△） | 11,912 |
| その他の資産の減少額（増加は△） | 21,945 |
| 仕入債務の増加額（減少は△） | △184,482 |
| 未払消費税等の増加額（減少は△） | △11,640 |
| その他負債の増加額（減少は△） | △219,880 |
| その他 | △6,051 |
| 小計 | 34,240 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,220 |
| 利息の支払額 | △24,278 |
| 法人税等の支払額 | △108,083 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △96,900 |
| Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 定期預金の預入による支出 | △4,801 |
| 定期預金の払戻による収入 | 137,364 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △77,676 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 24 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △25,873 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 34,763 |
| 新規子会社の取得による支出 | △31,437 |
| 子会社株式の売却による収入 | 59,642 |
| 貸付金の実行による支出 | △31,608 |
| 貸付金の回収による収入 | 690 |
| 保証金の支払による支出 | △188 |
| その他 | 11,462 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 72,361 |
| Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 短期借入金の純増加額（減少は△） | △20,513 |
| 長期借入れによる収入 | 530,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △291,386 |
| 社債の発行による収入 | 197,152 |
| 社債の償還による支出 | △28,000 |
| 自己株式取得による支出 | △3,605 |
| 配当金の支払額 | △24,960 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △13,125 |
| その他 | △321 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 345,238 |
| Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,340 |
| Ⅴ　現金及び現金同等物の増加額（減少は△） | 323,040 |
| Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高 | 891,898 |
| Ⅶ　現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,214,938 |
| | |